

## ●仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

### ○仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など様々な活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。

- ・男性・女性にかかわらず、年齢にかかわらず、あらゆる人のためのもの  
子育て期の女性のためだけではなく、独身の人や子育て期の男性、地域活動・介護をする人、自己啓発をしたい人、高齢者など様々な活動を行うあらゆる人のためのものです。
- ・人生の段階に応じて、自分の希望するバランスで実現できるもの  
仕事や子育て、介護、自己啓発など様々な活動の大切さは、人生の段階や個人の事情、希望により変わるものです。誰もが個人の判断で、自分の希望するバランスを決めることができます。
- ・「仕事の充実」と「仕事以外の生活の充実」の好循環をもたらすもの  
働き方の見直しで仕事の効率が高まり時間的な余裕ができることによって仕事以外の生活が充実します。また、意欲や創造性が高まり、それがさらなる仕事の充実につながるため、双方の好循環につながります。

### ○なぜ、今、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が必要なのか

共働き世帯の増加や、国内外の競争の激化、時代の変化に対応していない働き方等を背景として、安定した仕事に就けず経済的に自立することができない人、仕事に追われ心身の疲労から健康を害しかねない人、仕事と子育てや介護との両立に悩む人など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。

仕事と生活の両方を大事にすることは、働く人々の心身の健康や将来への不安の軽減につながり、社会全体や個々の企業が持続していくためにも必要不可欠となっています。

### ○仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会とは

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会とは、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会です。具体的には、次のような社会を目指します。

- ・就労による経済的自立が可能な社会  
若者がいきいきと働くことができるとともに、経済的に自立可能な働き方ができ、結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮らしの経済的基盤が確保できる社会。
- ・健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会  
働く人々の健康が保持され、家族・友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを持てる豊かな生活ができる社会。

- ・性別や年齢などにかかわらず、誰もが自らの意欲と能力を持って様々な働き方や生き方に挑戦できる機会が提供され、子育てや親の介護が必要な時期など個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択でき、しかも公正な処遇が確保される社会。

このような社会の実現により、

- ・男女ともに働きやすい職場環境
  - ・家庭に男性が参画することにより、家庭がパワーアップ
  - ・男女がともに取り組むことによって、地域社会の活動が活性化
  - ・男女ともに夢や希望を実現し、さまざまな人々が活躍できる社会
- となり、誰もがいきいきと暮らしていくことができる男女共同参画社会につながるのです。